





「めぐり」

めぐる ぐるぐる じかんはめぐる
めぐる ぐるぐる うちゅうはめぐる
めぐる ぐるぐる いのちはめぐる
めぐる ぐるぐる あなたとわたし
めぐる ぐるぐる めぐりあう

CONTENTS

もくじ

← かがわ

きょうと →

02. ありがとうのことば
生かされている私

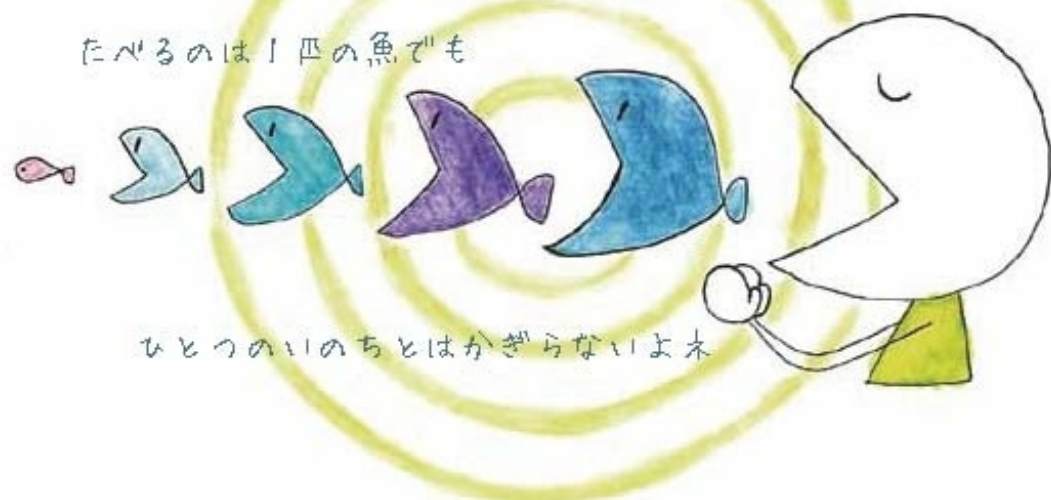
ぶつぜんけっこんしぎ
04. 仏前結婚式のススメ！

ひこく たよ
06. 彼國の便り

07. 東日本大震災
ボランティアレポート

12. 編集後記

10. 香川へおいでまい。



「ありがとうのいよば」

「生がされている私」

食べることで、それは生きていくために必要な、省略することができない行為です。その大切な「食べる」ことが、時間に追われる日々の中で、私たちは機械的になっていらないでほしいか。「私を生かしてくれるもの」に対して「ありがとう」「いただきます」「ごちそうさまです」を伝えてほしいか。

私たちが口に運ぶ食べ物、それらは言うまでもなく「いのち」「ありがとう」「いただきます」です。私たちが彼らの命をいただけて、今この瞬間を生きています。

また一方で、動植物を育てる人、調理する人、それを食卓に並べてくれる人。そんな多くの人はたらきにゆき、私は食事をするたびに、今日も仕事をしたりの、半検入行ったのであります。

とははららららもの、目を思えならはたらららららら「いのち」の存在だとして、自分とは関係がなららららら感じな

食前のことば

多くのいのちと、みなさまのおかげにより、
このごちそうをめぐまれました。

深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。

食後のことば

尊いおめぐみをおいしくいただき、

ますます御恩報謝ごおんほうしやにつとめます。

おかげで、ごちそうさまでした。

(浄土真宗本願寺派 「食事のことば」)

この「食事のことば」には、私たちにめぐまれた
食べ物、実に多くのいのちと、そして多くの方
のはたらきによるものであるということへの感謝
の想いが込められています。

そして、食べるという行為がただ漫然まんぜんとあるので
はなく、そこに至るまでに大きな「おかげ」と「め
ぐみ」がある、ということを再認識させてくれる
言葉でもあります。

みなさんも、ぜひ覚えてくださいね。

のが、私たちではないでしょうか。たとえば毎日の食事
の支度をしてくれる家族に向かって、感謝を伝えること
はできるでしょう。しかし、コンビニで売っているお弁
当やパンに、本当に心から感謝の気持ちで「いただきます
」と手を合わせているでしょうか。

植物のように、自分で栄養を作ることができない私た
ちは、結局のところ、誰かとつながらないと、誰かの「い
のち」をいただかないと、生きていけない存在なのです。

「いのち」をいただくということ。普段からそのこと
を見つめて生活することは、正直難しい。けれど、一
度一度の食事をする時、生かされて今の私があることを
深く心にとめる。手を合わせ、いただいた生きものたち
のいのちに「ありがとう」「いただきます」と言う。こ
の「いのち」のつながりに気付くことが、私たち人間が
できる唯一の、感謝と礼儀の姿なのではないでしょうか。

ありがとう、いただきます。

ありがとう、ごちそうさま。

食べることと同じく、省略できない言葉、心だと思
います。

文とイラスト・中山 真理子

え？
お寺で結婚式！？

仏前結婚式

のススメ



「**仏前結婚式**」という言葉を聞いて、「お寺で結婚式ができるの？」と聞かれる方も多いかも知れません。でも、できるんです！

仏教には「縁」という教えがあります。縁によって世の中がつながり、成り立っているという教えです。結婚するお二人が出逢った中には、想像もできないくらい多くの「縁」が重なっています。この出会いを本当に大切なものであると気づかせてくださったのが、「仏さま」という存在です。

結婚式は、結婚の誓約をする儀式。仏さまの前で結婚の誓いを交わすという事は、二人が巡り会えた「縁」に感謝し、互いに手を取り合って、敬い助け合ひながら、これからの人生を共に歩んでいくことを誓い合う、ということなのです。人の心は変わってしまうかもしれないけれど、それでも二人共に人生を歩むことを約束する。これってステキじゃありません？

女性は衣装を気にされるかもしれませんが、**白無垢**はもちろんだ、**十二単**や**ウエディングドレス**もOK！**席かな雅楽**や、ともに仏さまの御前に感謝する言みとなるようにどの席いから行われる**記念珠の授与**も、儀式に華を添えてくれます。

人生の門出、結婚式。仏さまの前で、出会いの縁の深さを想いつつ、二人のこれからを、誓い合われてみてはいかがでしょうか？

文・藤井 恵昭

仏前結婚式の式次第（一例）

オススメPoint!!

みんなで声をひとつに。

オススメPoint!!

二人のこれからを変える？
ありがたいお話。

オススメPoint!!

厳かな雅楽や
ふっふっふさんか
仏教讃歌と共に。

オススメPoint!!

仏前結婚式ならでは！

1. 親族来賓着席
2. 新郎新婦入堂
3. 司婚者入堂
4. お勤め・表白
5. 司婚・誓いの言葉
6. 記念念珠授与
7. 新郎新婦焼香
8. 司婚者祝辞・法話
9. 新郎新婦退堂
10. 司婚者退堂
11. 親族来賓退堂



仏前結婚式を終えて
濱本信太郎



仏前結婚式を終えた私は泣いていました。
仏縁で結ばれたという喜びもありますが、「美しい雅楽」と、「仏前結婚式の厳かさ」が私の心を直撃させ、涙を誘ったのです。
入場の歩みを進める時、お焼香の時…私の感情が高まる時涙に流れていた「美しい雅楽」は、今でも目をじわじわと思ひ出されます。
華やかな結婚式は世の中に数多くありますが、いただいたご縁に一つだけ思いを致すには、「仏前結婚式の厳かさ」が一番だと感じました。



彼の国

たよの便り

以前見たテレビドラマにこんな場面がありました。

そのドラマの主要なキャラクターの恋人で、現代の医療をもってしても治療方法を見付けられない、不治の病におかされた元エリート医師の人がいました。

その不治の病は、徐々に全身の筋力が低下し、身動きが段々とできなくなり、最終的には死に至っていくという病だったそうです。

その身体が不自由になる過程の、彼女との会話の中、

「この病気に奇跡はない。残念だ。」

「だけど、俺の人生は奇跡であふれている。」

今朝、目が覚めた。

今日も生きてた。

朝だ。

今日は彼女に会いに行く日だ。

寝癖がついてなきやいいなあ。

自分じゃ治せない。

家を出る。

歩いて15分の公園に

45分かけてたどり着けた。

変な髪型じゃない状態で、君に逢えた。

俺にとつては、毎日が奇跡の連続だ。

今日もこうやって、君に逢えた。

そういうことが奇跡なんだよ。

また逢いたい。

来年も。

再来年も。

ずっと。」

ドラマの一場面ではありますが、彼の言葉は、普段、私たちがなかなか気づくことのできない大切なことを伝えてくれているように感じます。

日常が「奇跡」にあふれていること。

実は、私たちはその「奇跡」のどのような瞬間を、なかなか素直に喜べません。

当たり前のように暮らして、当たり前のように大切な人と過ごして、当たり前のように明日がくると思ってしまうと、今、この瞬間の尊さに気づけない。

今、この瞬間が、実は「奇跡」のどのような瞬間だと思えない。

仏教では、「奇跡」という言葉を基本的には使いません。全ての出来事は「縁」としてとらえていきます。

「奇跡」のどのような瞬間も「縁」のひとつとしてとらえます。

この世のすべての人生が、この「奇跡」のどのような「縁」の「軌跡」でつくられているのです。

あ、これ、あるミュージシャンの歌のフレーズから浮かびました。

めぐりゆく時のなかで、

めぐりゆく出逢いのなかで、

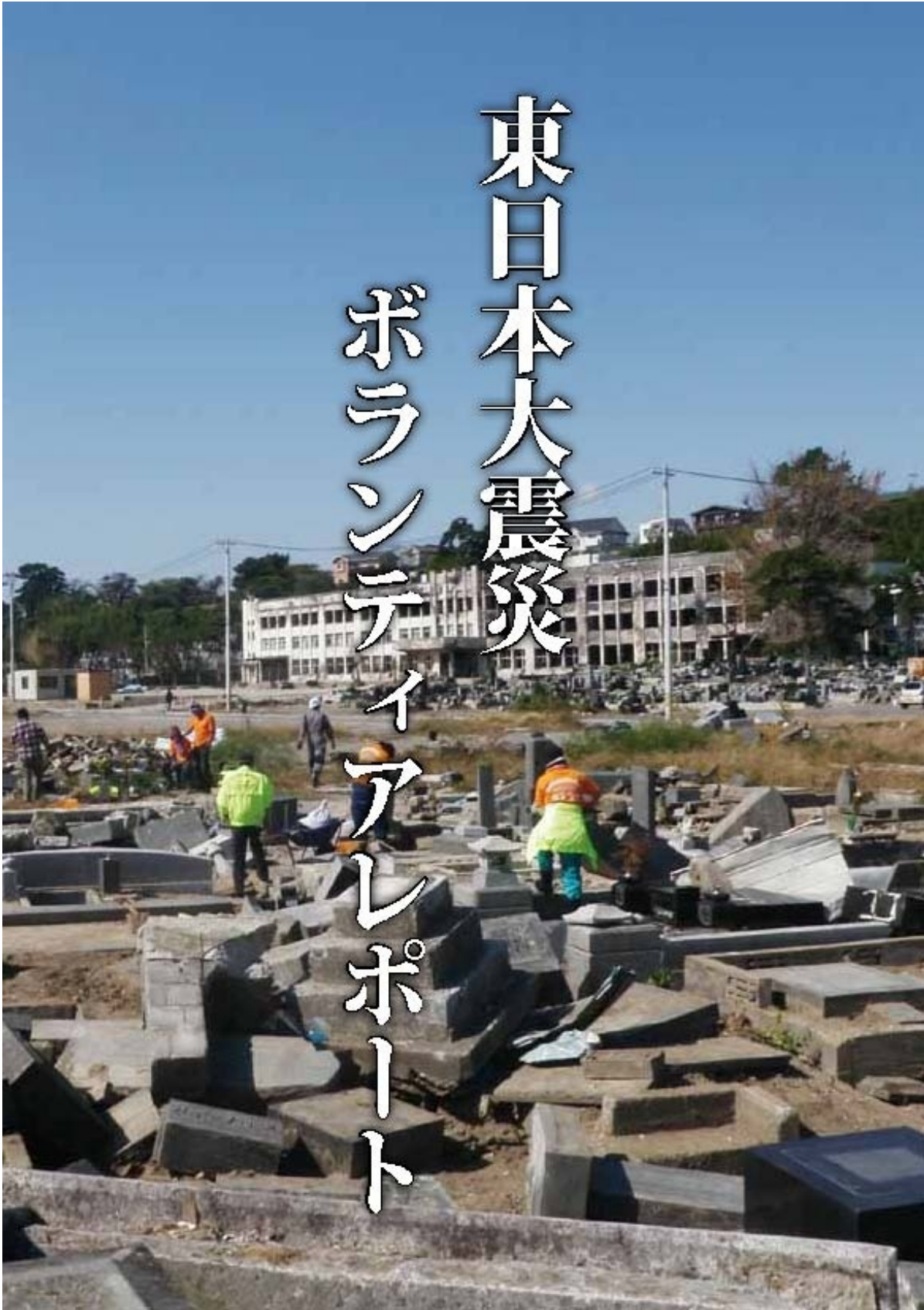
「奇跡」のどのような「縁」のつながりのなかで、

あなたはあなたのキセキをどう生きますか？

文・岩佐 准光（仏教青年連盟指導講師）

東日本大震災

ボランティエアレポート





二〇一一（平成二十三）年三月十一日二時四十六分。東北地方で大地震が起りました。そして、約一時間後の大津波。その後、発表された被害状況。原発から漏れた放射能による、二次災害。未だかつて経験した事のない、想像を超えた災害です。

その被害状況の凄まじさをただ見ているだけでなく、「今、私が出ることしなければ。少しでも力になりたい。」との思いで、日本中だけでなく世界中からも、多くの人たちがボランティアに駆けつけ、復旧に向けて行動されました。※

私が東北に向かったのは、東北地方が晩秋の十月。その頃になるとメディアでは地震・津波被害の報道を見かけることも少なくなっていました。

仙台に降り立ち、復興している仙台市を見て「震災から七ヶ月経った今、支援できる事があるのだろうか？ほとんど、復興しているのでは？」という気持ちでした。市内では、殆ど被害を見る事はありませんでした。

しかし、津波が襲った沿岸部の石巻市門脇町に書いた時言葉を失いました。津波によって全てが流され、所々に空き家がある状態。沿岸部には積み上げられた瓦礫。止まっていたままの信号機。まだ復旧もままならない町。東北地方全てが復興するには長い時間を必要とする事に気付かされました。



十月のボランティアは瓦礫の撤去作業でした。震災直後からのボランティアも支援物資の搬入を優先事項に、瓦礫の撤去や流入物撤去を中心とした清掃活動が多かったと思います。

震災から一年が経とうとしている現在は、被災された方に寄り添う活動が中心となってきました。突然の災害に襲われ、故郷から離れ、血縁地縁が途切れかけ、慣れない環境の中で日々を過ごす辛さ。その方々に寄り添い、手を添えて共に進む支援が必要とされています。

阿弥陀如来あまたよらいという仏さまは「あなたは一人じゃないんだよ。いつでも私が一緒にいますよ。」とお誓いになられました。阿弥陀さまの教えを頂く私たちも、一人でいる人を見かけたら、傍観者ぼうくわんしやではなく、手を添えてそばに寄り添える人でありたいと思います。

このボランティアの活動を通して、人は「つながり」あう中で生かされて生きていくのだと改めて気付かされました。

最後に、石巻市の日和山公園ひよりやまこうえんから見た場所に再び光が戻り、人が笑い合えることを願いつつ、これからも支援を続け、寄り添うことができたらと思います。

文・四州教区 片山英道

※平成二十三年十二月までの時点で約80,100人が参加

全国社会福祉協議会誌

香川へおいでまい。

Let' go to Kagawa!



高松●

今年の「全国真宗青年の集い」は、四国の香川県丸亀市（「お城」と「うちわ」の町）で行われます。そこで、今回は香川県の魅力をお伝えします。香川県は、瀬戸内海と四国山脈に囲まれた全国で一番小さな県ですが、四国の玄関口として瀬戸大橋があり、交通の便も発達しています。また、気候は穏やかで日照りもよく、住みやすい所です。そんな好条件のおかげか、映画のロケ地として使われることもあり、香川県に来たことがなくても、どこか懐かしく感じられるかもしれません。

丸亀市は、古くから城下町、塩田の町として栄えてきました。現在は全国シェアの90%を誇る日本一のうちわどころです。港町にある「うちわの港ミュージアム」では、うちわづくりを体験したり、歴史を教えてもらえます。

丸亀市飯野町には讃岐富士（正式名称は飯野山）にまつわる「おじよも（天狗）の伝説」があります。その昔、飯野山と並び立つ青ノ山が、「自分こそが一番きれいな山だ。」と言い張り喧嘩をはじめ、飯野山はなぐられてたんこぶができ、青ノ山は登頂部分を割られてしまいました。きれいな形がくずれて泣いている飯野山・青ノ山のもとに天狗が現れて、二つの山をまたいで小便をし、それが現在の土器川となって、喧嘩も水に流したという伝説も残っている程、整った形をしています。おすすめは、善通寺市側から見た形です。





琴平町では、毎春、金丸座にて「四国こんぴら歌舞伎大芝居」が行われ、全国から歌舞伎ファンが訪れ大賑わいになります。この金丸座は、1835(天保6)年に建てられた現存する最古の芝居小屋で国の重要文化財に指定されています。人力で動かすセリや廻り舞台といった仕掛けがあり、時代を越えて受け継がれる昔の人の知恵と努力に感動します。他にも、昭和4年にできたアーチ式の豊稔ダムなども、見所の一つです。



香川の名物と言えば、まず思い浮かぶのが「うどん」ですが、他にも名産が沢山あります。その代表が、最近テレビでも紹介されている「骨付鳥」です。甘辛いタレで焼いた鶏のもも肉は、スパイシーで癖になる味です。おみやげ物として選ぶなら、「しょうゆ豆」や「和三盆」に「瓦せんべい」がオススメ。是非、お試しあれ！



近年、注目されている物の一つに、盆栽があります。昨年は、世界中の愛好家が高松市に集まり、世界最大の盆栽大会「A S P A C」が開かれ大盛況に終わりました。日本の松の盆栽の八割は香川で作られており、高松市鬼無町「盆栽通り」では、畑に所狭しと松が並んでいるのを眺めることができます。是非、和の芸術「BONSAI」に触れてみてはいかがでしょうか！



今年の夏、皆様のお越しをお待ちしています！
香川へおいでまい！

文・四州教区 大西誠一郎



編集後記 STAFF VOICE

最近有縁の方に、新しい命が誕生したと相次いでご連絡をもらって、命って有難いなあと思う毎日。最後の最後に一番難しいテーマとなり、私自身すごく考えさせられた今回の「まこと」。感謝の気持ちも新たに、私も彼らに負けないように成長し続けます。支えてくれた皆さんにありがとう。これからもよろしく。

……………中山真理子

卑下と高慢から抜け出せない日々。自分の無知は「他者」への無知を生んでいる。それじゃアカンと知りつつも実は居心地がいいのか抜け出せない。そんな自己に「囚」われた状態に疑問を投げかける存在との出会いが、「私」に自由な主体をもたらしてくれる。

……………宮崎寿洋

今回のまことで最後の仕事になりました。2年間でしたが日頃関わらないような仕事をさせてもらい、またひとつ自分のスキルアップに繋がったのではないかと思います！

また私的な話ですが、大学も4年生になり就職活動もいそがしくなります。しかし、来年度もご縁があれば広報委員としてお仕事ができればと思っています。

……………上高原直樹

「まこと」の制作などをする広報委員会に入って、多くの人に読んでいただく文章を書かせてもらうという貴重な経験をさせてもらいました。ありがとうございました。そして、本当に広報のいいメンバーでいろいろと作れた事を嬉しく思っています。この経験を今後には是非活かして行けたらいいなと思います。

……………藤井恵昭

突然ウォーキングを始めました。「運動不足！」「全身の血流が悪すぎる」「腰痛持ち！」とお医者さんに言われ続けましたが、歩いてみると、何か…アツい何かが俺の中をメグリ、メグルのを… 何だろ？んー、あ！分かった！血液かも！でも分かんないや！テヘペロッ♪

いいじゃん！歩こ歩こ！ウフフー☆

……………野口哲城

2年間、4号に渡って「まこと」の編集&デザインに携わらせていただきました。初めての経験で、いろいろ苦労もありましたが、優秀なアドバイザー(?)が傍にいてくれたおかげで、なんとかやり遂げられたと思います。ホントいつもありがとう。今後の「まこと」も乞うご期待！

……………日下賢裕



お念珠をいつもそばに〇

腕輪念珠
&
お念珠型ストラップ
新色登場

親鸞聖人 750 回大遠忌法要記念大会カラー

☆ 腕輪念珠：150 円 (一般価格)/120 円 (連盟価格)

☆ 念珠型ストラップ：550 円 (一般価格)/500 円 (連盟価格)

※連盟価格とは、仏教青年連盟に加盟されている方の価格です。

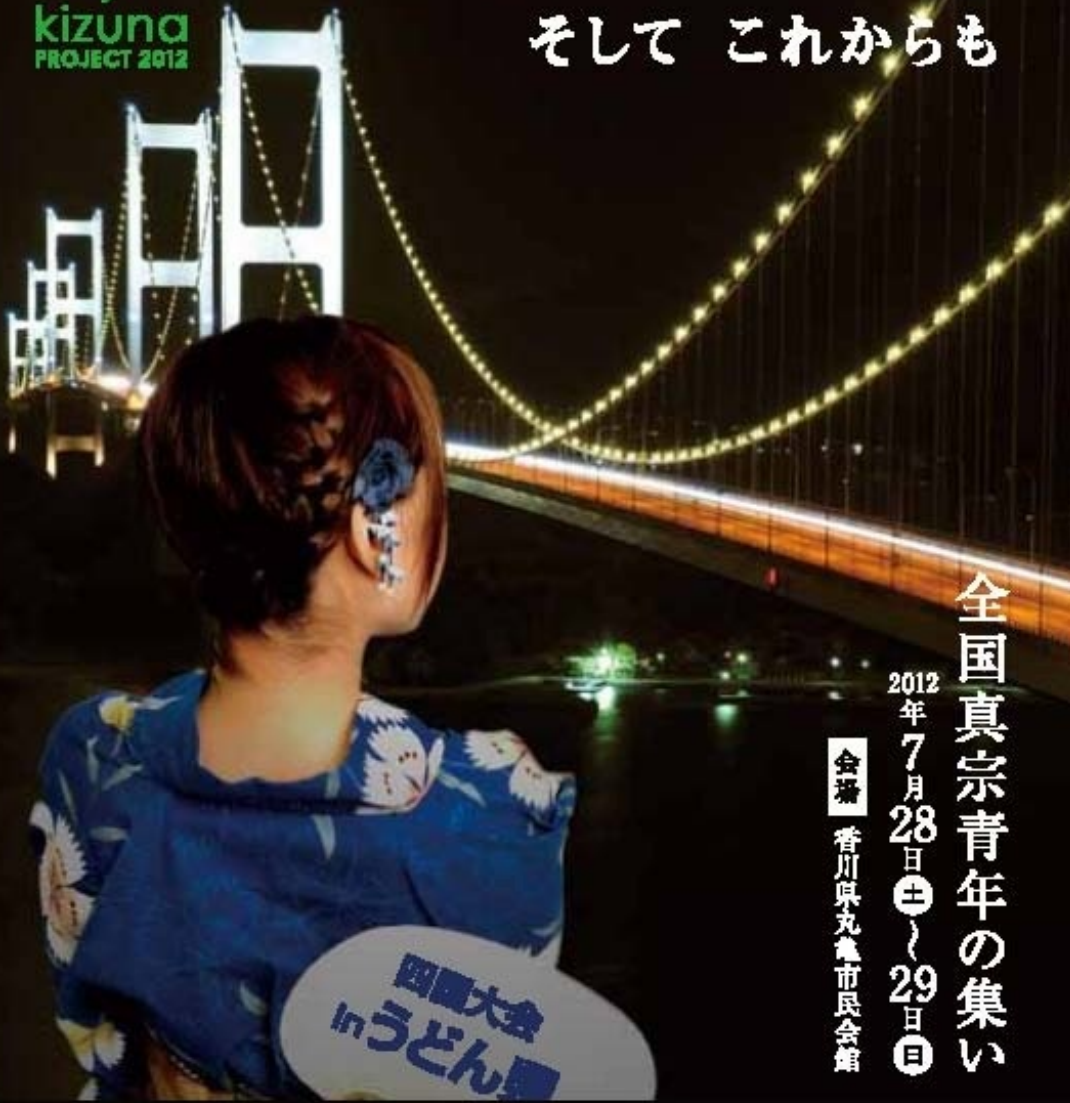
お問い合わせ：浄土真宗本願寺派 仏教青年連盟 教材委員会

TEL：075-371-5181 (代) yba@hongwanji.or.jp



kizuna
PROJECT 2012

ずっと つながっていた
そして これからも



全国真宗青年の集い

2012年7月28日(土)～29日(日)

会場 香川県丸亀市民会館

28日 スペシャルゲスト&トークセッション



萩 徹哉
同志社大学経済学部教授
同志社大学人文学部
www同志社大学.jp



曾山 じか
国文学研究館
玉野大学助員



上田 圭行
文化人類学者
東京工科大学
リサーチセンター 副長



池坊 由紀
www.ikebana.or.jp

スペシャルライブ



あくい 舞
シンガーソングライター



三浦 明帆
同志社大学経済学部教授
シンガーソングライター

makoto no.147

浄土真宗本願寺派 仏教青年連盟事務局 2012年3月15日発行 印刷：ヨシダ印刷株式会社
編集/発行：仏教青年連盟 広報委員会 〒600-9801 京都市下京区堀川蓮花園町下ル浄土真宗本願寺派本願寺前 TEL: 075-371-5181(代)

makoto No.147

<http://p.booklog.jp/book/49260>

著者 : bussei

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/bussei/profile>

ホームページ : <http://yba.hongwanji.or.jp/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/49260>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/49260>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパバー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.